

自動車事故対応策

日頃から、速度制限を守り、安全運転に気をつけていても相手のあることです。自動車事故が起きてしまうことがあります。そのような場合のために、この資料をまとめました。活用する事態に陥らないことが一番ですが、それでも事故が起きてしまったら；－

1. 先ず落ち着く。
2. 周囲の交通状況に配慮して、路肩に車を止める。
3. 相手の様子により、救急車を呼ぶ。000
4. 車内に常備の「入手すべき相手方情報一覧」(頁 2)を取り出し、事故相手に対する。
5. 一覧の内容(頁 2)に沿って質問するか、相手方に記入してもらう。
6. 事務的に冷静に対応する。
相手の非を責めない。此方の非を相手にも、警察にも認める発言はしない。
7. 相手に非があるときは、目撃証人がいれば名前と携帯電話番号を訊く。
8. 警察(何処でも好い)に届け、事故証明書を入手する。
9. 負傷の場合は、医師の診断書を入手する。
10. 保険会社に連絡する。所定の保険求償書類に記入、提出。
11. 損傷状況の写真を撮り記録する。
12. 板金工場(Panel Beater)で見積もりを取る。複数必要かは、保険会社に拠る。

車内に備えておきたいものは、

1. 筆記具
2. 相手方から入手すべき情報一覧 (頁 2)
3. 名刺 (自分か、ご主人のもの)
或いは 氏名、電話番号、保険会社名・保険番号をカードに記載。車中に保管。

自動車事故は、いろいろな状況の下で発生しています。回避策を実行しましょう。

1. 速度違反時 法定速度を遵守。
2. 車線変更時 安全を確認して走行車線を変更する。
3. 雨の降り始めのスリップしやすい時 スピードを落とす。
4. 携帯電話使用時 かけない、かかってきたら左に寄せて止まる。
5. 子供が後部座席にいる時 シートベルト装着の確認、安全運転に集中する。
6. 行き先への道順が不確かな時 出発前に予習。目的地前に出てくる道路名を記憶。
7. 前面ガラスが汚れている時 ガラス磨き習慣化。サイドミラー、前照灯、制動灯も。
8. 市電の線路上での車線変更時 レールを渡るときは、アクセルを踏まない。

自動車事故時に入手すべき 相手方情報一覧

* は入手必須事項。

名前 * Driver Owner 車両所有者名	(If different from driver) (事故相手と異なる場合)
ナンバープレート Vehicle Reg. No *	
車両 * Vehicle	メーカー名 Make モデル Model 色 Colour 年式 Year
事故発生時刻 場所 Location	Time Melway
免許証 * Driver`s License	番号 Number
住所 * Address	* 免許証で確認。裏面にラベルが貼ってあれば転居しており「最新」の住所なのでこちらを転記する。 但し、当方の住所は積極的に告知することはしない。
電話番号 * Phone	携帯 Mobile
勤務先 Work	名称 Name
保険会社 * Insurance	社名 Company Name
警察官 Police Officer	氏名 Name 所属警察署名 Police Station 警察官番号 Officer Number
目撃証人 Witness	氏名 Name 携帯番号 Mobile 住所 Address その他
その他	

❁ 上記項目は此方も相手方に告知義務がありますから、特に保険会社名、保険番号などはメモして所持します。

❁ 基本的に爾後の連絡は保険会社を介します。